令和７年度　野田市総合公園指定管理者管理運営状況調書

担当課　スポーツ推進課

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価	担当課評価	特記事項
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	サービス向上のための取組状況	Ｂ	Ｂ	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	Ｂ	Ｂ	
	②経費縮減のための取組	Ｂ	Ｂ	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	Ｂ	Ｂ	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	Ｂ	Ｂ	

総合所見

令和８年１月９日にスポーツ推進課長補佐及び担当者が訪問し、指定管理者と打合せを行った。結果は以下のとおりである。

全体を通して、仕様書及び令和７年度業務計画書の内容をおおむね満たしており、適正に管理されていることを確認した。

指定管理者の自己評価については、評価項目すべてＢとなっており、担当課の評価としても、昨年度と同水準の取組内容であったため、同様に評価項目すべてをＢと評価した。

公契約条例に基づく最低賃金の確保については、指定管理者から提出された労働者賃金報告書により、いずれの職種も市長が定める最低額以上を支払っていることを確認した。

人員配置については、令和７年度業務計画書に対し係員が１名減員した。正職員が減員となったが、その後、在籍 10 年の臨時職員を正職員として雇用した。臨時職員の増員はなかったが、おおむね仕様書及び計画書に基づき適正に管理運営されていることを確認した。なお、職員 18 人中 16 人が野田市在住者であることを確認している。

施設の破損及び修繕等の実施状況については、不具合が発生した際には、その都度必要な対応をしている。なお、指定管理者の裁量だけでは解決できない案件

については、市による現地確認を行い、協議の上、対応を適宜検討している。
　収支状況については、収入面では、野球場のナイターの利用者が多かったことや、参議院議員選挙による施設利用があったこと等により業務計画より増額の見込みであり、支出面では、人件費において見込みより正職員の異動があったこと、水道料金において見込みより夏場の散水回数が減少したこと等により、業務計画より減額の見込みである。
　最後に、指定管理者及び施設の課題について、施設の課題として、全体的に老朽化が進んでおり、年々修繕箇所が増加傾向にあることが挙げられる。限られた修繕料の中でより効果的に修繕を実施していくために、優先順位をつけて修繕を実施していく。また、指定管理者で修繕可能なことは実施し修繕費用の縮減に努めることを念頭において、今後の業務計画に生かしていく。
　以上のことから、総括として、施設の管理運営状況は妥当なものとなっており、仕様書に基づき、適正に行われていると評価する。